広報ぬまた Numata 1

2018.12.26
Vol.615

賀正

沼田町では257人が戌年生まれです。
沼田小学校5・6年生の児童、戌年生まれが集まって記念の写真をパシャ

新年、明けましておめでとうございます。日頃より町行政運営に対しご理解とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、10年後・20年後を見据えて計画された「農村型コンパクトエコタウン構想」の中心的な施設であります「商業コミュニティ中核施設」（まちなかほっとタウン）、沼田厚生クリニック、デイサービスセンター、地域あんしんセンターの3つの施設を一体とした「地域密着多機能型総合センター」（暮らしの安心センター）の2つの施設がオープン致しました。両施設は、本町にとって重要な施設であり、「住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるまち」を目指し、多くの町民皆さまにご利用いただけるよう願っております。

本町の基幹産業であります農業につきましては、6月の低温・日照不足で生育が停滞したものの7月以降天候に恵まれ、順調に成熟が進み、収量品質ともに平年を上回る見込みとなっております。また、畑作物に関しても初期生育の遅れが心配されましたが、平年並み以上の収量となりました。しかしながら、次年度より国の農業政策の根幹でありました転作制度が廃止転換されるなど、今後の国の農業政策の予測が困難な状況ですが、本町農業の持続的発展のため農業者並びに関係機関・団体と連携し対策に努めてまいります。

商工業では、東京都に本社を置くプラスチック容器製造業のタスマン株式会社と、沼田工業団地売買契約を結ぶことが出来、新たな雇用創出に繋がるなど、明るい出来事がありました。

少子高齢化と人口減少が進む環境は、町政運営にとって決して容易なものではなく、一昨年末に報道がなされたJR留萌線に関するJR北海道の方針など、課題が山積しておりますが、現在進行中の「第5次沼田町総合計画後期基本計画」や、「沼田町人口ビジョン」「沼田町総合戦略」などの各種計画に基づき、本年も「暮らし続けられるまちづくり」のため町民皆さまと一体となって取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続き一層のご協力ご支援をお願い申し上げます。

平成30年が町民皆様にとって健康で充実した1年となることを心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

沼田町議会議長
渡邊敏昭

平成30年の新春を迎え、議会を代表し謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、日頃から議会活動に対しまして、暖かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、基幹産業の農業におきまして、6月の低温と雨模様が続いたことによる日照不足の影響から生育が停滞し、遅れが生じたところでしたが、7月以降の天候に恵まれ生育も回復し、水稲、畑作物共に平年以上の収量となりました。また、町民の皆様と多くの議論を重ね進めてきた「暮らしの安心センター」と「まちなかほっとタウン」がオープンした年でもありました。町民の皆様が安心して暮らし続けられるよう両施設が町民の皆様に愛される施設として有効に活用されることを切に願うところであります。

さて、米国のＴＰＰ離脱により発効の先行きが不透明な状況にある自由貿易協定の動向は、基幹産業である農業のみならず地域経済にも大きな影響を及ぼすものであります。また、道内有数の米の生産を担う地域として、食料供給力の確保に必要な農業基盤である農地や農業水利施設の整備を継続的かつ安定的に実施することが不可欠であり、更には意欲ある担い手の確保と育成は、少子高齢化により人口減少が進む本町の地域を支える重要な事項でもあります。

議会といたしましても、今後とも国政政策や町政課題を要望書や意見書にまとめ、内閣や関係部局に提出し実行運動を続けていくとともに、ＪＲ問題等北空知圏域が抱える共通課題については、連携して取り組んで参る所存であります。

今年も町民の付託に応えられる様、努力することを誓うとともに、皆様方からご指導いただけますことをお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

沼田消防団長
大原正己

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様方には、健やかに希望の新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、平素より沼田消防団の活動にご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げますと共に、日頃団員の皆さんを陰でご支援いただいているご家族の方々に対しても心よりお礼を申し上げます。

さて、昨年は全国各地で台風や集中豪雨など異常気象ともいうべき局地的な自然災害が相次ぎ多くの市町村に甚大な被害をもたらしました。本町においては、穏やかな気候に恵まれ自然災害等は少ない状況でありますが、3件（12／7現在）の火災が発生しており深川地区消防組合管内の火災発生件数も21件と前年同期（14件）の発生件数を大きく上回る残念な結果となりましたが、災害の早期発見、通報により被害を最小限に抑えられたことは地域町民一人ひとりの防火意識の高さの表れでありお礼を申し上げます。

我々消防団は災害に対し使命感と奉仕の精神を持ち、町民の皆様と一体となって「自分たちの町は 自分たちで守る」という深い郷土愛護のもと、火災はもとより風水害等の大規模災害に即時対応できる防火防災活動の向上に取り組んでまいります。

結びに、この1年が無火災、無災害であります共に、町民の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。

深川警察署 沼田警察庁舎所長 布施唯隆

新年あけましておめでとうございます。

沼田町の皆様には、平素から交通安全、暴力追放、青少年の健全育成のほか、犯罪の予防のための諸活動にご参加いただいていることに対し厚く御礼を申し上げます。

皆様ご承知のとおり、昨年4月1日に、パトロール活動の強化、夜間・休日の体制強化、事案対応能力の強化などを目的として沼田警察署と深川警察署が統合となり、深川警察署沼田警察庁舎として新たなスタートを切らせていただきました。

さて、昨年の治安情勢を振り返りますと、沼田町におきましては刑法犯の認知件数は前年に続き減少し、また交通事故死ゼロも更新しているところであり、これも各関係機関や町民の皆様のご支援ご協力の賜と深く感謝しております。

しかし、道内では、高齢者被害の特殊詐欺が大きく増加したほか、強盗等の凶悪犯罪や悲惨な交通死亡事故が依然として後を絶たないなど警察を取り巻く諸情勢は楽観を許さない状況であります。

このような情勢を踏まえ、警察署と致しましても、「犯罪や事故の無い安心して暮らせる北海道の実現」に向け、職員一丸となって地域の治安維持に邁進する所存でございますので、これまでと同様にご支援ご協力を賜りますようお願い致します。

結びに、沼田町の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

沼田弾薬支処長 兼沼田分屯地司令 井野清二

新年あけましておめでとうございます。

沼田町の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から陸上自衛隊へのご理解並びに沼田分屯地に勤務する隊員に対する温かなご支援ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年、国内では九州北部において集中豪雨による大規模な自然災害が発生したほか、道内においても台風接近に伴う降雨、暴風による被害が発生しました。

また、国際情勢では、北朝鮮による度重なるミサイル発射実験が実施され、その一部が北海道上空を通過する等、日本を取り巻く安全保障環境の厳しさを一層感じる年でありました。

このような中で、沼田分屯地としましては、皆様の期待に応えるべく、北海道防衛の任務はもちろんのこと、様々な任務にも確実に対応できるよう訓練を積み重ね、その成果を蓄積して、各種事態に適切に対処できるよう努力して参る所存です。

また、各種地域活動に積極的に参加させていただくことにより、皆様との連携のより一層の強化を図っていきたいと考えております。

結びに、本年も沼田分屯地に対する変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、皆様のご健勝と御多幸を祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

沼田中学校
創立７０周年統合５０周年記念式典

１１月１９日（日）、沼田町立沼田中学校創立７０周年・統合５０周年の記念式典が沼田中学校体育館で、在校生６８名・来賓など１２４名の総勢１９２名が参加され執り行われました。

式典では、岡田聖人協賛会会長から「昭和２２年に沼田村立沼田中学校として開校、昭和４３年に沼田・共成・北竜中学校の３校が統合しました。

常に校訓を基に教育目標を実現できるよう時代に応じた前向きな教育を実践してきました。特に昭和４６年には生徒会の発案により卒業して１０年後にみんなが会うことができる様につくられた「再会の塔」は４５年間が経過した現在も継続されています。いつまでも、仲間・母校・故郷を忘れないで下さい。」と挨拶がありました。

続いて、小川勉校長から式辞、金平町長・高田副議長からは祝辞があり、７０周年のお祝いをいただきました。

最後に全校生徒が「ふるさと」を合唱し創立７０周年・統合５０周年の歴史の重さをかみ締め、沼田中学校の今後の発展を誓いました。

沼田中学校 70 年の主な出来事

年号	年	月	日	出来事
昭和	22	4	1	新学制により、北竜小学校に沼田中学校分校が設置される。
		5	1	沼田村立沼田中学校創立。
				消防番屋を改造した校舎で共成中学校が創立。
	24	8	1	沼田中学校北竜分校が正式に認可され、北竜中学校として独立。
	43	4	1	沼田・共成・北竜の３中学校が統合。沼田中央中学校として設立される。
			4	開校式、14 学級　548 名で授業が開始される。
	46	4	1	沼田中央中学校を沼田中学校と改称。
		12	9	生徒会の発議による「再会の塔」完成。
	52	11	13	創立 30 周年・統合 10 周年記念式典が執り行われる。
	58	8	4	全道中学校相撲大会で優勝し、全国中学校相撲大会に初出場を果たす。
	62	11	15	創立 40 周年・統合 20 周年記念式典が執り行われる。
平成	6	8	27	富山県小矢部市と両中学校生徒が交流する青少年交流事業が始まる。
	9	11	23	創立 50 周年・統合 30 周年記念式典が執り行われる。
	19	11	23	創立 60 周年・統合 40 周年記念式典が執り行われる。
	23	1	1	旧沼田高校校舎に移転。
	27	10	28	沼田町一貫・連携教育研究大会の開催。
	29	11	19	創立 70 周年・統合 50 周年記念式典が執り行われる。

沼田農業を背負う

若手農業者海外視察研修

11/8

農業に従事している山岡凌太郎氏（高穂２）、堀　祐介氏（北竜３）が沼田町農業者人材育成事業を活用して空知管内ＪＡ青年部視察研修（10/29 ～ 11/4 オーストラリア）の参加報告に金平町長を訪れました。

この視察研修は、海外の大規模経営の実態や経営事情、営農技術を現地視察し、自らの経営に役立てる為実施されています。報告の中で、「オーストラリア農業の規模の大きさや、中学１年生から高校３年生まで一貫教育のヤンコー農業高校は学費の無料化を行っていて、国が農業を守る基盤が整っていることに驚きました。」「水不足に悩みながら農業を行う大変さや後継者不足など自分達と同じように、様々な困難に立ち向かって農業を行っていると共感できました。今回の研修を今後自分達の営農に生かして生きたい」と話されていました。

▲左から山岡凌太郎氏、堀　祐介氏

▲広大な畑作圃場

実習農場・就業支援センターを視察

上川陽子法務大臣が来町

11/15

上川陽子法務大臣が北海道内の法務省関連施設視察の為、本町を訪れ、就農支援実習農場と１０周年を迎えた沼田町就業支援センターを視察されました。

就農支援実習農場の視察では、椎茸を栽培している施設や選果場・イチゴハウス等を視察し、担当者からの説明を受け、椎茸を収穫している実習生に声をかけ、本町の取組みなど熱心に視察されました。

就業支援センターでは、金平町長と協力団体（沼田明日萌の会 高田会長・沼田すずらんの会 松田副会長・深川地区保護司会 岩倉会長・保護司会 絵内沼田支部長・深川地区更生保護女性会 舟谷会長）と懇談を行ない本町や各団体の取組を説明しました。

上川法務大臣は「関係団体の方々や沼田町の方々からの温かいサポートは、立ち直りに重要な役割を果し、少年達の更生に大きな支えとなっていると感じました。今後も少年達の力になっていただきたい。」と話されました。

左から高田会長、絵内支部長、岩倉会長、金平町長、上川大臣、舟谷会長、松田副会長、山田旭川保護観察所長

▲イチゴハウスを視察する上川法務大臣

郷土を懐かしみ

東京沼田会総会

11/18

第２９回東京沼田会総会が東京都市ヶ谷で開催され、会員や金平町長・渡邊議長など併せて約４０名が参加しました。

総会後の懇談会では、会員の方々に今年オープンした「まちなかほっとタウン」と「沼田町暮らしの安心センター」など２つの施設を紹介し、沼田町の現況を説明しました。　また、参加者は会場に貼られた、昭和３０年後半の戸別地図を見て、「私の実家はここ！」と、故郷を懐かしみ語り合っていました。

総会が始まる前には、北海道独自の「板かるた」（下の句かるた）を楽しみ、懐かしく珍しい木製の板を眺めたり、３対３の対極戦を行ない、故郷から遠く離れた会員には、懐かしさにひたるひと時でした。

▲板かるたを楽しむ会員の方々。

永年勤続の皆さんを表彰

沼田町商工優良従業員表彰式

11/22

沼田町商工会主催の優良従業員表彰式が、観光プラザで執り行われ、５事業所計９名が表彰を受けました。また、特に模範的従業員として有限会社臼井産業の玉井和子氏が、沼田町長表彰を受けました。

表彰式では、吉住淳男商工会長から「長く勤めていただくことは事業主にとって頼もしい。これからも商工会として、皆さんをバックアップしていければと思います。」と挨拶がありました。

受賞者を代表して町長表彰を受けた玉井和子氏は「身に余る光栄で仕事をする上で励みになります。これからも皆さんからのより一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。」とお礼の言葉を述べられました。

▲栗中副町長から町長表彰の伝達を受ける玉井和子氏

元気に歌・遊戯を披露

第2回沼田認定こども園発表会

12/2

認定こども園で、第２回発表会が行われました。

園児みんなで元気に歌った後、土肥芳子園長から「１ヶ月半熱心に練習してきた成果を見てもらおうと、みんな張り切っています。出来ても出来なくても最後まで頑張る園児たちを応援していただければと思います。」と挨拶がありました。

各組による楽器演奏・遊戯の後、最後はオペレッタ（台詞、踊りのある劇）で「三びきのこぶた」と「金のがちょう」を披露し、保護者、おじいちゃん、おばあちゃんから大きな拍手が送られていました。

突然の災害に備えて

地域防災セミナー

12/9

健康福祉総合センター「ふれあい」で、地域防災セミナーが開催され、町民４０人が参加しました。

講師に北海道大学大学院工学研究院 准教授 森 太郎氏をお招きし、阪神淡路大震災、東日本大震災の経験から、避難所の重要性についてお話いただいた後、各班に分かれて避難者の年齢や性別、住居の損壊状況などを考慮し適切な対応を体験する避難所運営ゲームを行いました。

セミナーの最後には各班から、ゲームの中で避難者に対して行った対応方法や、沼田町で事前にすべき防災対策が発表され、災害に対する意識を高めました。

今年の出来は？

3町うまいっしょグランプリ

12/11

雨竜町・北竜町・沼田町の３町とJAきたそらち、JA北いぶきで組織する３町営農改善推進協議会（佐野北竜町長）が、３町の中で、米とそばが１番おいしい町を決める「３町うまいっしょグランプリ」を北竜町役場で開催しました。３町ではそれぞれ、米とそばの栽培が盛んで、品質が向上してきたことを受け、３町で更に切磋琢磨しようと金平町長が提案し、今年初めて開催されました。

▲佐野北竜町長からグランプリのトロフィーを受け取りました。

会場では、同じ条件で炊いた３町の「ゆめぴりか」と、「キタワセ」のそば粉を使ったそばを、町名を伏せ提供して、各町長や農協関係者、空知農業改良普及センター北空知支所の職員など42名が試食して、おいしいと思ったものに投票しました。

投票の結果、米は「沼田町産」が20票、そばは「北竜町産」が16票でそれぞれ初代グランプリに輝きました。

来年度から同協議会の会長を務める金平町長は「３町が競い合う事で、一層良質な農産物の生産に繋がると思います。来年以降も継続的に開催したい。」と、来年度の開催に意欲を見せていました。

素敵な音色を奏でていました

クリスマスコンサート開催

12/16

クリスマスコンサート（沼田町ファミリーコンサート実行委員会主催）がゆめっくるで開催されました。

音楽やダンス等の芸術文化を町民の皆さんが気軽に鑑賞できる場を提供しようと、各団体の協力で行われ、沼田吹ガールズ、沼田ウクレレサークル、沼田歌声サークル、N-link、沼田認定こども園児、小学校スクールバンド・中学校の吹奏楽部が参加し、会場に訪れた観客は一足早いクリスマス気分を満喫していました。

がんばれ！沼田っ子

教育長杯争奪小学生バレーボール大会

沼田リトルポプラが優勝

１２月９日（土） 沼田町教育長杯争奪小学生バレーボール大会が町民体育館で開催されました。

大会には北空知の各市町から８チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

地元開催での優勝を狙う沼田リトルポプラ（臼井寛子監督）は予選・決勝トーナメント合わせて３試合を勝ち抜き、６年生が抜け５年生以下で編成された新チームでの初めての大会で見事優勝しました。

表　彰　大堀信義氏「北海道善行賞」を受賞

１０月２２日（日）札幌市で行われた「第６６回全道身体障害者福祉大会石狩大会」の席上で、大堀信義氏（共成）が北海道善行賞を受賞されました。

北海道善行賞は、身体の障がいを克服し、自立した社会生活を営み、社会活動に参加するなど他の障がい者の模範となると認められた方に北海道知事から贈られる賞で、大堀氏はこれまで農業のかたわら沼田町身体障害者福祉協会会長（現職）をはじめ役員を歴任されるとともに、沼田町身体障がい者相談員（平成２年～現在）、空知身体障害者福祉協会副会長（現職）、北空知地域自立支援協議会副会長（現職）、更には障がい者等の外出支援を行うNPO法人の設立にも尽力し、地域の身体障がい者福祉の向上に多大なる貢献をされ、この度の受賞となりました。

表　彰　絵内勝己氏「法務大臣表彰」を受賞

１０月２５日（水）旭川市で行われた「北海道・道北ブロック更生保護研究大会」の席上で、絵内勝己氏（北竜３）が法務大臣表彰を受賞されました。

絵内氏は平成８年１２月からの２１年間、保護司を務められており、平成２６年からは深川地区保護司会沼田支部長としてご活躍される等、長年に渡る更生保護事業の発展のため尽力された功績が認められ、この度の受賞となりました。

秋の叙勲

瑞宝双光章

深川地区保護司会沼田支部保護司　三十五年
更生保護事業に尽力

土肥（どひ）芳子（よしこ）氏

南一条6丁目に在住する深川地区保護司会沼田支部保護司の土肥芳子氏が秋の叙勲で瑞宝双光章の栄誉に輝きました。

土肥氏は深川地区保護司会沼田支部保護司として35年務められ、また、深川地区保護司会の理事、副会長を歴任し、本町及び深川地区での更生保護事業に尽力された功績が認められ、この度の受章となりました。

土肥　芳子／昭和22年8月28日生
住所　沼田町南一条6丁目6番21号

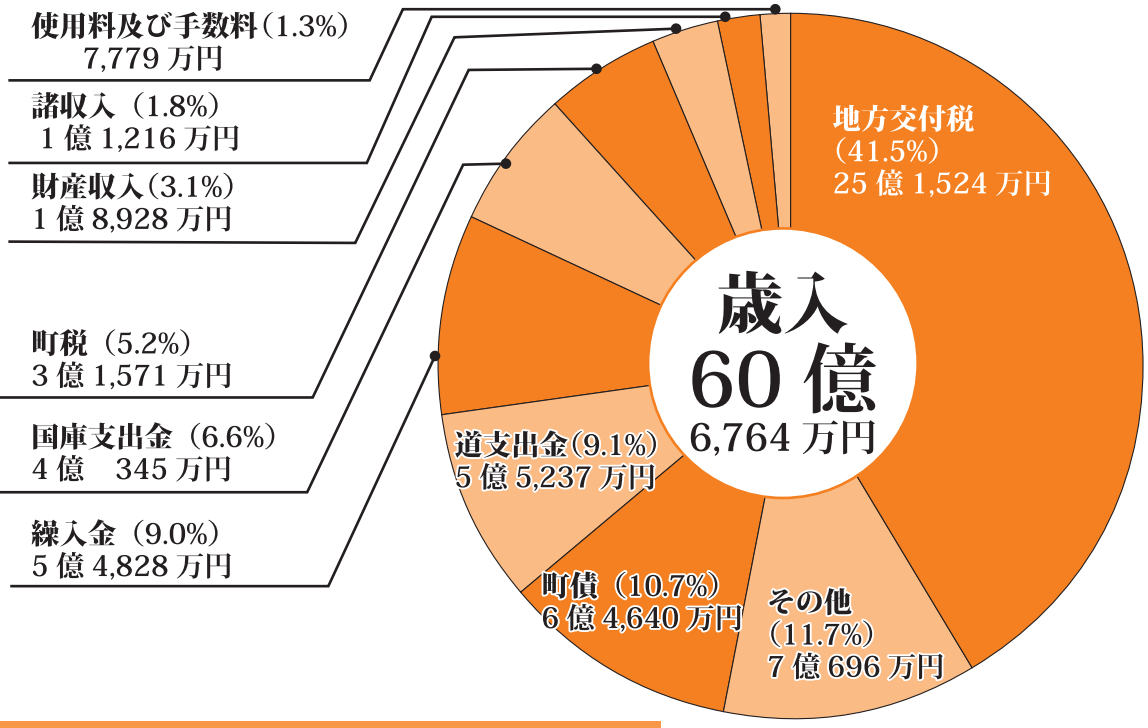
土肥　芳子 氏 略歴

■保護司歴
保護司
　昭和５７年１２月～現在
深川地区保護司会理事
　平成１０年　４月～平成１４年　３月
　平成１８年　４月～平成２９年　３月
深川地区保護司会副会長
　平成１４年　４月～平成１８年　３月
■主な表彰歴
平成　８年１０月　北海道地方更生保護委員会委員長表彰
平成１７年１０月　法務大臣表彰

受章された瑞宝双光章

平成28年度 町の決算

まちの家計簿といえる平成28年度決算を公表します。
町民みなさんから納めていただいた税金や国、道からの補助金等がどのように使われているかをお知らせするものです。
年々、厳しくなる財政状況の中、節減に努め効率的な財政運営を行ない財源確保に最大の努力を図っていきたいと思いますので、町の行政について、皆さんの一層のご理解とご協力をお願い致します。



一般会計

一般会計の決算額は、歳入が60億6764万円、歳出59億4309万円で差し引き1億2455万円の黒字決算となりました。

町民の皆さんが納めた町税は3億1571万円で、1人当り10万67円負担したことになります。

これに対し、1人当りに使われた費用は188万3705円で黒字決算とはいえ依然、自主財源に乏しくその大半を地方交付税や町債（町の借金）に頼る財源内容となっています。

◇備荒資金組合納付金とは…
災害による減収補てん・災害応急復旧事業費やその他災害に伴う費用にあてるために、道内の市町村が一部事務組合を設立し積立を行っているもので、使い道が災害関連等に限定される普通納付金と、使い道に制約の無い超過納付金に分けられています。

町税の負担状況　人口3,155人（29年3月末）

税区分	決算額	構成比	町民一人当たり
町民税	1億4,775万円	46.8%	46,831円
固定資産税	1億2,914万円	40.9%	40,932円
軽自動車税	972万円	3.1%	3,081円
たばこ税	1,948万円	6.2%	6,174円
入湯税	962万円	3.0%	3,049円
合計	3億1,571万円	100%	100,067円

借入金の状況（一般会計分）

区分	平成28年度末現在高
農林水産	1,920万円
土木	2,071万円
公営住宅	4億4,337万円
公共事業等	7,879万円
過疎対策事業	16億4,756万円
一般会計出資債	751万円
緊急防災・減災事業債	1億7,698万円
臨時財政対策債	4億3,916万円
その他	6,415万円
合計	28億9,743万円

町有財産の状況（平成28年度決算現在高）

土地	5,438.201㎡	車輌	77台
建物	112,035㎡	絵画	2点
山林	3,554,824㎡	有価証券	508万円
		出資金等	3,524万円

基金（一般会計分）		30億5,489万円
	財政調整基金	3億6,660万円
	減債基金	6億2,753万円
	特定目的基金	20億5,469万円
	定額運用基金	607万円
備荒資金組合納付金		5億1,955万円

用語の解説

■総務費…町の内部管理・税務・戸籍・選挙・統計などに要する経費です。

■民生費…福祉事業、認定こども園運営費などの経費です。

■衛生費…健康づくり、ごみ、し尿処理などに要する経費です。

■農林水産業費…農林業の振興などに要する経費です。

■商工費…商工業・観光の振興などに要する経費です。

■土木費…道路整備・維持、町営住宅管理などに要する経費です。

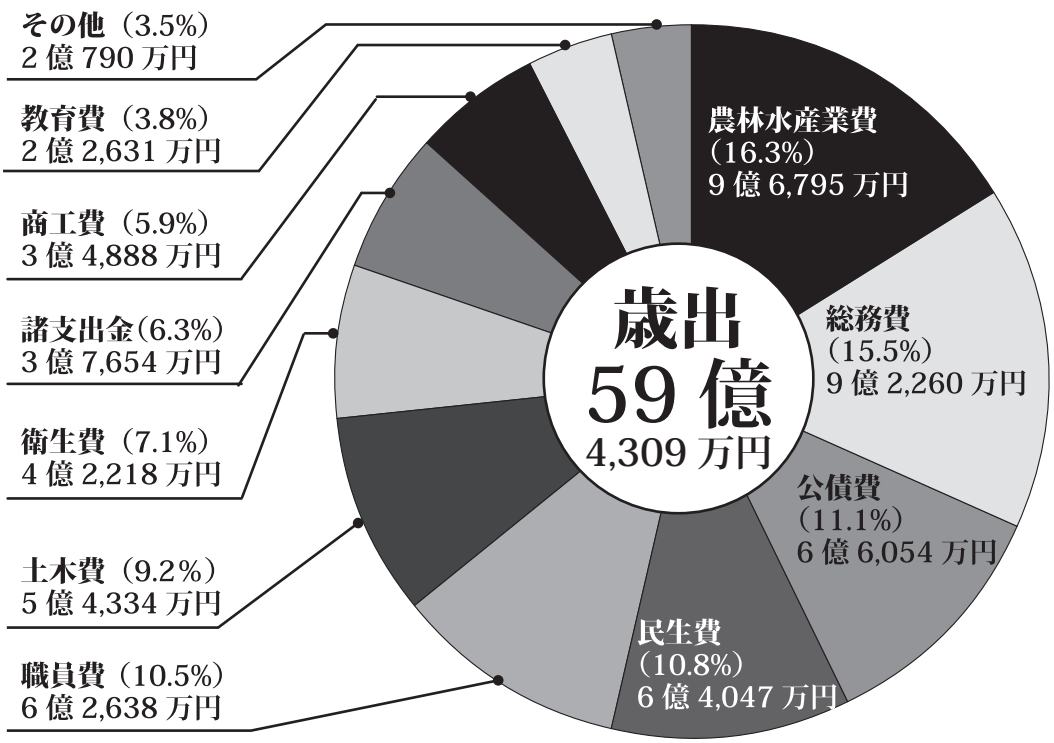
■教育費…小中学校、社会教育、保健体育などに要する経費です。

■公債費…町の借入金の返済に要する経費です。

■諸支出金…基金の積立金などに要する経費です。

■職員費…職員に対して支給される給料と各種手当などに要する経費です。

■その他…議会費、消防費などの経費です。



特別会計

特定の事業に使われる経費を一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。

公営企業会計

地方公営企業とは、地方公共団体が地域住民の福祉の増進を目的として経営する企業です。

※特別会計と公営企業会計は、税・使用料・負担金・国道支出金のほか、一般会計からの繰入金等で運営がなされ、効率的運用に努めています。

特別会計

会計名	歳入	歳出
養護老人ホーム	3億911万円	2億8,758万円
特別養護老人ホーム	3億287万円	2億9,130万円
高齢者グループホーム	4,147万円	3,780万円
介護保険	3億5,604万円	3億3,596万円
国民健康保険	5億8,202万円	5億2,803万円
後期高齢者医療	5,551万円	5,543万円
公共下水道	2億2,175万円	2億2,072万円
合計	18億6,877万円	17億5,682万円

公営企業会計

会計名	区分		決算額
水道事業会計	収益的	収入	1億8,150万円
		支出	1億8,691万円
	資本的	収入	142万円
		支出	3,129万円

平成29年度上半期 収支状況

平成29年度の上半期（4月～9月）の収支状況をお知らせします。
限られた財源のなかで健全財政を堅持しつつ町民生活の向上を重点に、行財政の効率的な運営に努めています。
この公表を通じ、町の財政がどのような状況にあるかをご覧いただき、住みよいまちづくりにこれからも一層のご理解とご協力をお願いします。

歳入　執行率 46.3%

予算額：49億6,248万円
収入済額：22億9,787万円

町税	3億1,747万円	1億5,580万円（49.1%）
地方交付税	20億6,701万円	15億3,314万円（74.2%）
使用料及び手数料	8,277万円	3,926万円（47.4%）
国庫支出金	1億6,474万円	4,633万円（28.1%）
道支出金	3億9,761万円	1億1,410万円（28.7%）
財産収入	1億8,538万円	6,321万円（34.1%）
繰入金	4億7,244万円	4,000万円（8.5%）
諸収入	1億1,755万円	1,473万円（12.5%）
町債	4億8,180万円	－（0.0%）
その他	6億7,571万円	2億9,130万円（43.1%）

※上段が予算額、下段が収入・支出済額で（　）は執行率です。

歳出　執行率 37.3%

予算額：49億6,248万円
支出済額：18億5,054万円

総務費	6億9,248万円	2億3,228万円（33.5%）
民生費	8億70万円	3億9,123万円（48.9%）
衛生費	4億400万円	2億923万円（51.8%）
農林水産業費	6億1,658万円	2億2,905万円（37.1%）
商工費	1億1,928万円	8,380万円（70.3%）
土木費	4億5,655万円	6,557万円（14.4%）
教育費	3億8,233万円	1億3,831万円（36.2%）
公債費	3億1,842万円	1億1,673万円（36.7%）
諸支出金	3億7,041万円	113万円（0.3%）
職員費	6億520万円	2億8,802万円（47.6%）
その他	1億9,653万円	9,519万円（48.4%）

町税の収入状況

税区分	予算額	調定額	収入済額	収入歩合
町民税	1億4,485万円	1億5,925万円	5,742万円	36.1%
固定資産税	1億3,560万円	1億3,828万円	7,594万円	54.9%
軽自動車税	970万円	969万円	951万円	98.1%
たばこ税	1,757万円	1,009万円	819万円	81.2%
入湯税	975万円	474万円	474万円	100%
合計	3億1,747万円	3億2,205万円	1億5,580万円	48.4%

特別会計

会計名	予算額	収入済額	支出済額
養護老人ホーム	2億8,468万円	1億3,803万円	1億721万円
特別養護老人ホーム	3億3,520万円	1億1,118万円	1億3,879万円
高齢者グループホーム	3,948万円	1,609万円	1,404万円
介護保険	4億1,672万円	1億5,979万円	1億3,624万円
国民健康保険	6億2,150万円	2億3,980万円	2億1,436万円
後期高齢者医療	5,925万円	1,456万円	1,160万円
公共下水道	2億430万円	1,947万円	8,079万円
合計	19億6,113万円	6億9,892万円	7億303万円

公営企業会計

会計名	区分		予算額	執行額
水道事業会計	収益的	収入	1億5,271万円	7,898万円
		支出	1億5,982万円	4,753万円
	資本的	収入	71万円	71万円
		支出	2,397万円	800万円

町債の借入予定

事業名	借入予定額
過疎対策事業債	3億2,790万円
旭町幹線舗装補修事業	540万円
高穂幹線高穂1号橋補修事業	570万円
高穂幹線高穂2号橋補修事業	210万円
除雪機械購入事業	2,910万円
地域密着多機能型総合センター建設事業（総合通所サービスセンター）	1億1,840万円
地域密着多機能型総合センター建設事業（地域あんしんセンター）	9,720万円
旧沼田中学校解体事業	7,000万円
介護サービス事業債	5,120万円
臨時財政対策債	1億270万円
合計	4億8,180万円

沼田町の財政状況を家計に例えたら・・・

沼田町の財政状況を家計に例えた場合、年収約241万円（税収・税外収入）と親からの仕送り約207万円（地方交付税）を合算した約448万円が年額収入となり、このうち約32万円は借金の返済（公債費）に充てなければならなく、実際に可処分所得として使えるのは約416万円となります。一方、この家計は、家計費（一般歳出）として年間約464万円を必要としており、収入でまかないきれない約48万円は、借金（公債金収入）として調達しなければなりません。その結果平成29年度末には、ローン残高（公債残高）は約309万円、貯金残高（基金残高）は約295万円となっています。

平成29年度財政状況【一般会計】	
○税収＋税外収入	24億1,367万円
○地方交付税	20億6,701万円
公債費（A）	3億1,842万円
○税収等＋地方交付税－（A）	41億6,226万円
○一般歳出	46億4,406万円
町債収入	4億8,180万円
例：除雪機械購入事業 ※毎年必要なお金ではなく、臨時的に必要な多額の事業費の財源とするのが町債です。	
○町債残高予定（H29年度末）	30億8,858万円
○基金残高予定（H29年度末）	29億5,016万円

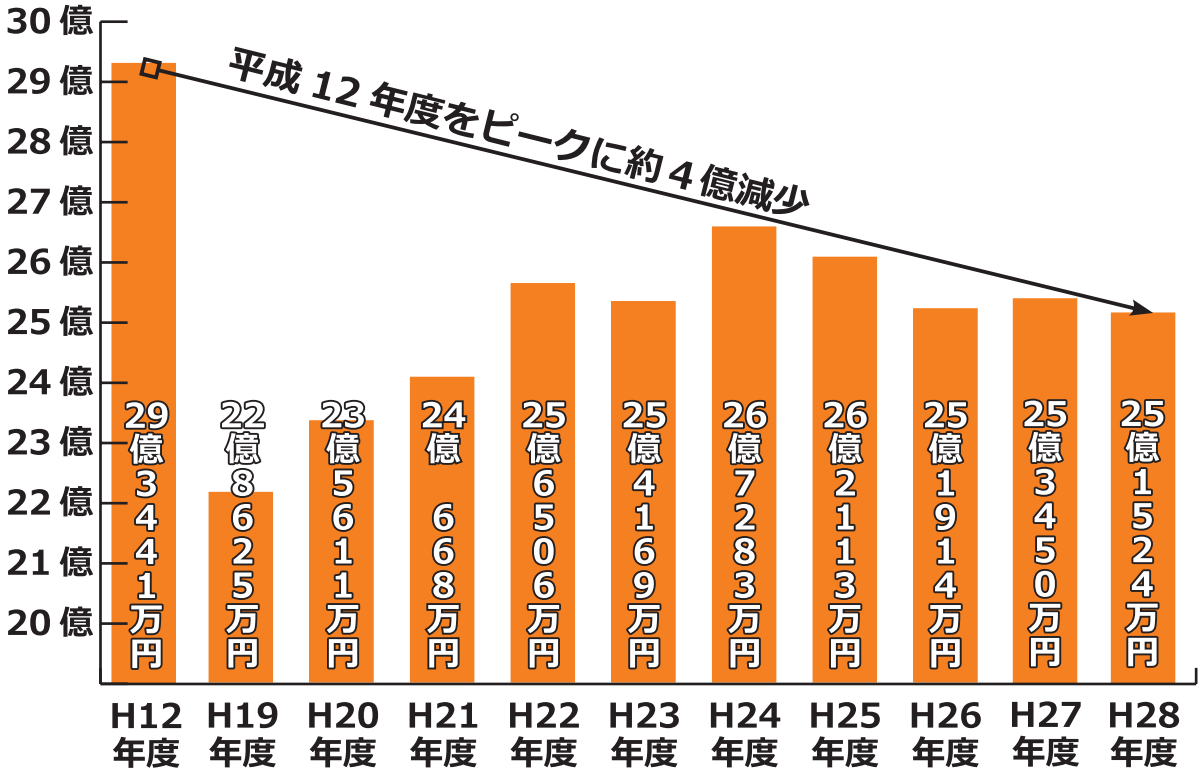
家計に例えた場合	
○1世帯年収	241万3,670円
○親からの仕送り	206万7,010円
ローン元利払（B）	31万8,420円
○可処分所得【年収＋仕送り－（B）】	416万2,260円
○家計費	464万4,060円
不足分＝借金	48万1,800円
例：除雪機購入 ※除雪機購入等の必要な経費の不足分（可処分所得の不足分）を補うのが借金です。	
○ローン残高予定	308万8,580円
○貯金残高予定	295万　160円

気になる数値を、グラフで見てみよう！

沼田町の財政推移（一般会計）

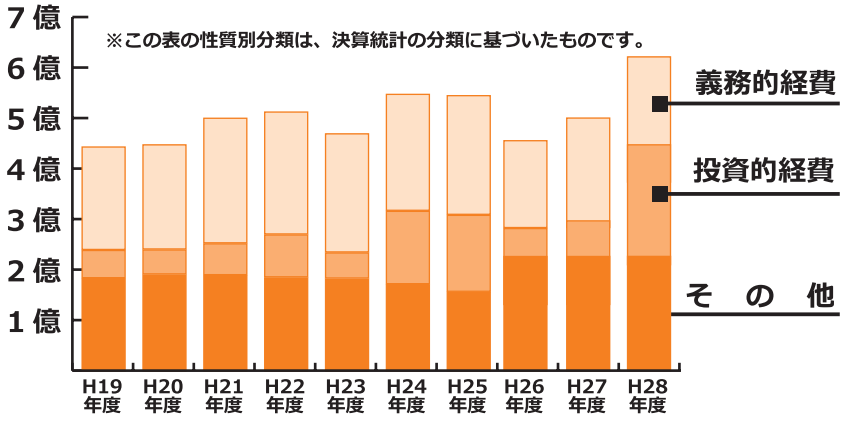
地方交付税の推移

平成 28 年度の地方交付税額（普通交付税、特別交付税）は、25 億 1,524 万円で昨年（25 億 3,450 万円）より 1,926 万円減少しました。
また、平成 12 年度が地方交付税額のピークの年（29 億 3,441 万円）であり、比較すると約 85．7%の水準となっております。



性質別経費（歳出）の推移

義務的経費	法律で支払いが義務付けられているもの、収入が減っても簡単に減らせられないもの
	人件費：職員給与や議員、委員の報酬など
	扶助費：生活困窮者、児童、老人、障がい者等支援の経費
	公債費：借入金の返済に要する経費
投資的経費	道路の基盤整備、公共施設の建設、災害復旧費に充てられるもの
	公共施設の新増設等や、用地取得などの資産形成に資する事業に要する経費
	災害の復旧に要した経費
その他	公共物の維持や補修などのその他経費

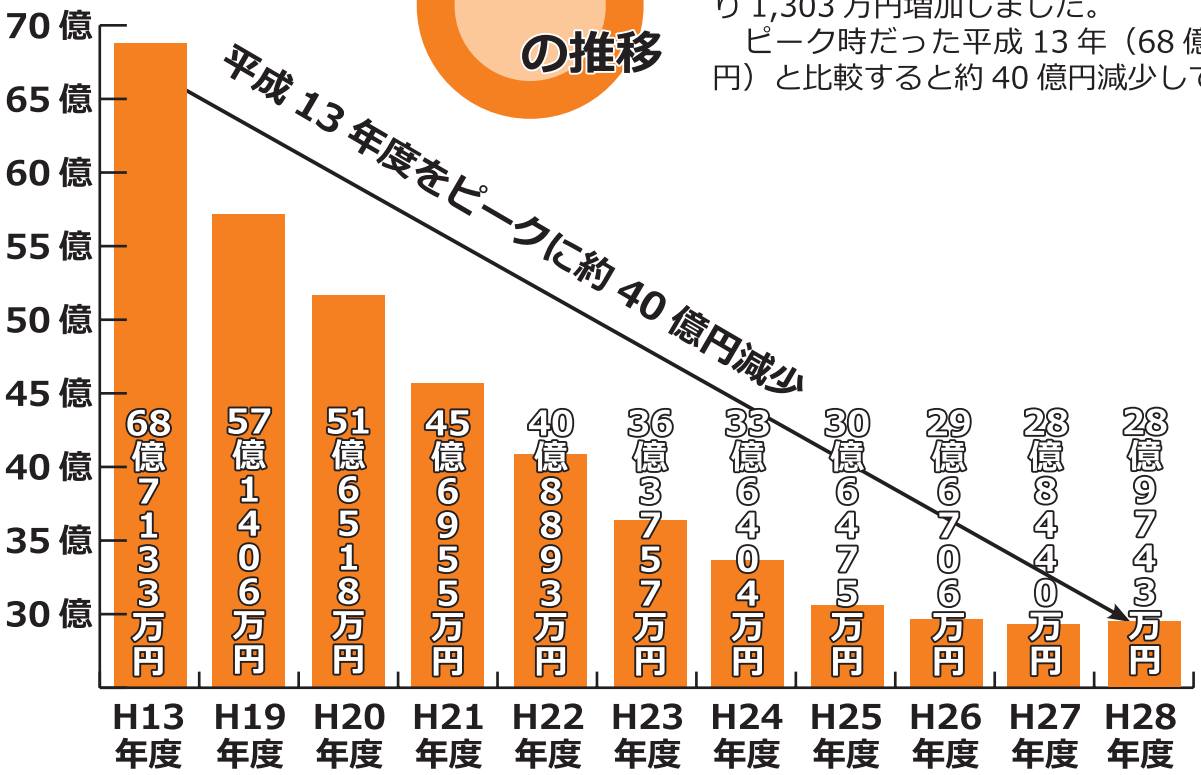


■義務的経費	17 億 68 万円
■投資的経費	17 億 2,831 万円
■その他	27 億 1,238 万円
計	61 億 4,137 万円

まちの家計簿

町債（まちの借金）の推移

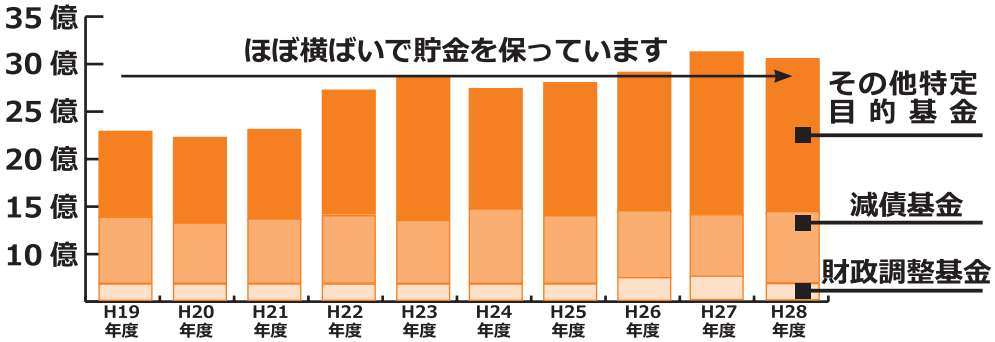
平成 28 年度末の町債（借金）残高は、28 億 9,743 万円で昨年（28 億 8,440 万円）より 1,303 万円増加しました。
ピーク時だった平成 13 年（68 億 7,133 万円）と比較すると約 40 億円減少しています。



基金（まちの貯金）の推移

財政調整基金とは、災害復旧、その他緊急を要し、又は必要やむを得ない財政需要に応ずる財源を積立てるための基金です。
減債基金とは、町債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる町財政の運営に資するための基金です。
平成２８年度は、財政調整基金等の取り崩しにより、年度末基金現在高が減少しています。

年度	財政調整基金	減債基金	その他特定目的基金	年度末基金残高
平成 19 年度	3 億 1,559 万円	9 億 4,385 万円	11 億 3,408 万円	23 億 9,352 万円
平成 20 年度	3 億 1,598 万円	8 億 6,746 万円	11 億 723 万円	22 億 9,067 万円
平成 21 年度	3 億 1,632 万円	6 億 8,219 万円	13 億 5,413 万円	23 億 5,264 万円
平成 22 年度	3 億 9,642 万円	6 億 4,196 万円	15 億 8,794 万円	26 億 2,632 万円
平成 23 年度	3 億 3,478 万円	6 億 6,898 万円	18 億 2,420 万円	28 億 2,796 万円
平成 24 年度	3 億 3,513 万円	6 億 9,280 万円	16 億 1,196 万円	26 億 3,989 万円
平成 25 年度	3 億 7,597 万円	7 億 1,663 万円	16 億 5,616 万円	27 億 4,876 万円
平成 26 年度	4 億 8,600 万円	6 億 4,650 万円	17 億 2,390 万円	28 億 5,640 万円
平成 27 年度	4 億 1,648 万円	6 億 4,717 万円	21 億 6,542 万円	32 億 2,907 万円
平成 28 年度	3 億 6,660 万円	6 億 2,753 万円	20 億 6,076 万円	30 億 5,489 万円



ふるさと納税の状況について
（ふるさとづくり基金指定寄附金）

ふるさと納税の寄附受け入れと、充当状況をお知らせします。

ふるさと納税制度は、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として創設され、当町においても全国各地の皆さまから、多数のご寄附をいただいております。

平成２８年度は、総額２億８，５１５万円のご寄附をいただきました。また、いただきました寄附金のうち、１億４，８０７万円を沼田町の更なる発展のため、有効に活用させていただきました。充当した事業は次のとおりです。

寄附金の充当状況

（平成２８年度実施事業）

事業名	金額	内容
1．安心で暮らしやすいまちづくりを追求する事業	３５０万円	
深川地区消防組合負担金	３５０万円	安心安全な救急体制の維持を図るため、高規格救急自動車の更新費用に充当しました。
2．活気あるまちづくりを追求する事業	５５０万円	
夜高あんどん祭り事業	５５０万円	まつりの街並みを演出するべく、街路灯へ提灯の設置と、視察スペースの整備等に充当しました。
3．教育環境に優れたまちづくりを追求する事業	７３万円	
化石研究事業	７３万円	国内・海外の学会の参加旅費に充当しました。
4．地球環境に貢献するまちづくりを追求する事業	７２万円	
沼田町自治振興協議会補助金	７２万円	町内会等が地域の歩道等を緑化し、行政とともに環境美化を推進するための活動に係る費用に充当しました。
5．その他目的達成の為、町長が必要と認めた事業	1億3,762万円	
医療・福祉・子育て支援事業	7,766万円	診療所の整備、保育料の負担軽減や子育て世帯への暖房経費助成等に充当しました。
移住定住事業	1,251万円	住みやすい移住定住用住宅の整備、高校生の通学交通費の補助等に充当しました。
商工観光事業	464万円	観光資源である明日萌駅周辺の維持管理及び中小企業・商店街活性化を目的とした各種事業等に充当しました。
教育関連事業	3,384万円	学校教育の充実を図るべく、スクールカウンセラー、教育総合アドバイザー等を配置し、報酬に係る経費等に充当しました。
その他の事業	897万円	地域の集会所を快適に使用できるよう、損傷の著しい外壁の改修事業等に充当しました。
合計	1億4,807万円	

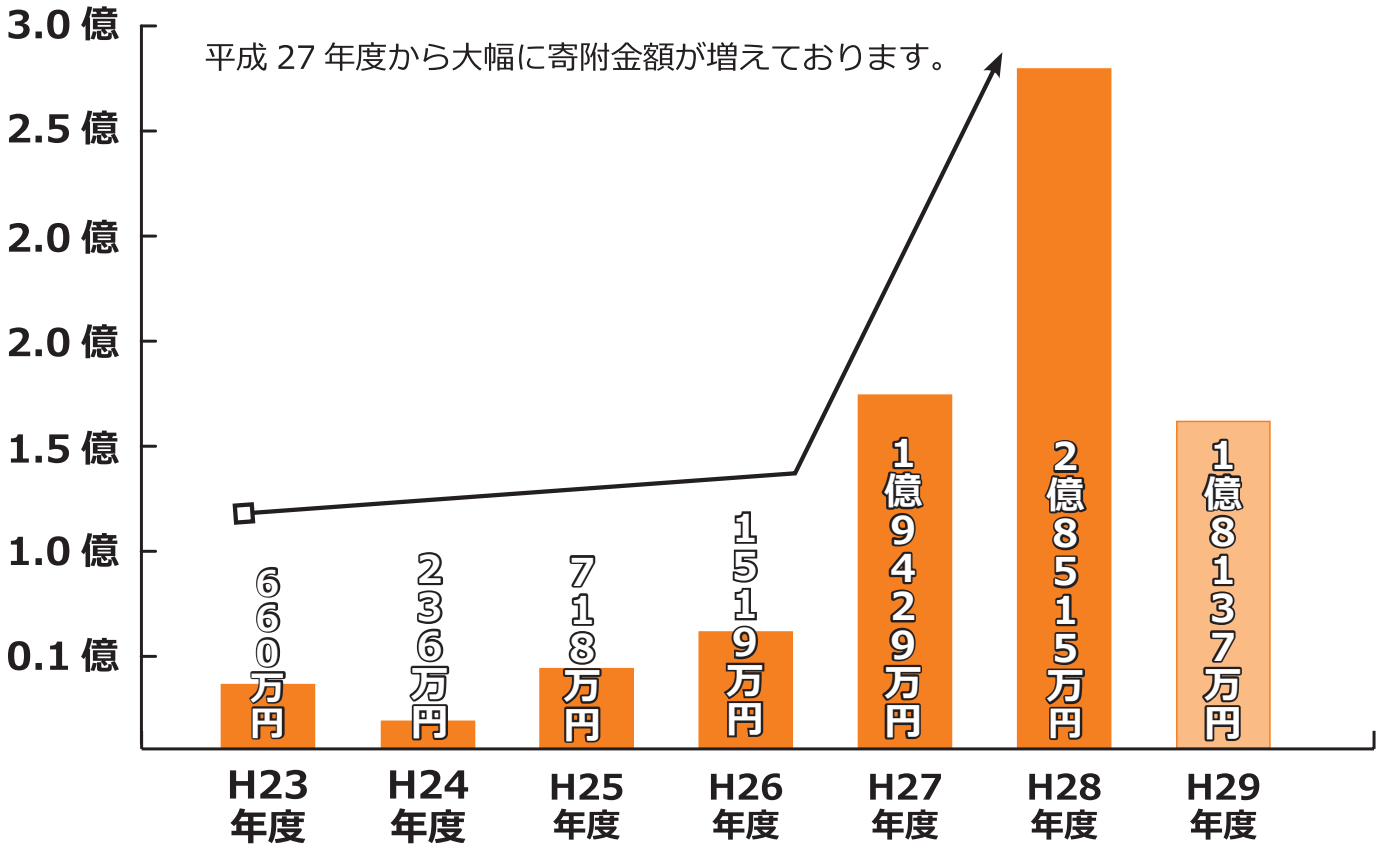
平成２９年度は、１１月末時点において１億８,１３７万円の寄附をいただいております。使途指定別の寄附金額の状況は次のとおりです。

寄附金の受入れ状況

（平成２９年１１月末現在）

事業区分		平成29年度	
		件数	金額
1	安心で暮らしやすいまちづくりを追求する事業	927	1,461万円
2	活気あるまちづくりを追求する事業	638	1,090万円
3	教育環境に優れたまちづくりを追求する事業	1,506	2,540万円
4	地球環境に貢献するまちづくりを追求する事業	806	1,241万円
5	その他目的達成のために町長が必要と認めた事業	7,125	1億1,805万円
合計		11,002	1億8,137万円

寄附金額の推移



※平成29年度は１１月末までの寄附金額

沼田町の職員数と給与などを公表します

総　括

●人件費の状況【平成２８年度（普通会計決算）】

歳出額	実質収支	人件費	人件費率	前年度
61 億 4,137 万円	1 億 2,449 万円	6 億 5,432 万円	10.7%	13.8%

●職員給与費の状況【平成２８年度（普通会計決算）】

職員数	給料	職員手当	期末・勤勉手当	合計
84 人	2 億 2,562 万円	5,954 万円	1 億 774 万円	3 億 9,290 万円

●ラスパイレス指数（一般行政職）

平成 23 年度	平成 27 年 4 月 1 日	平成 28 年度
97.4	97.3	97.4

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を 100 とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

職員数の状況

●年齢別職員構成の状況（平成２９年４月１日現在）

区　分	20 歳未満	20 歳～23 歳	24 歳～27 歳	28 歳～31 歳	32 歳～35 歳	36 歳～39 歳	40 歳～43 歳	44 歳～47 歳	48 歳～51 歳	52 歳～55 歳	56 歳～59 歳	60 歳以上	計
職員数	0 人	10 人	18 人	13 人	9 人	12 人	16 人	14 人	10 人	6 人	6 人	0 人	114 人

●部門別職員数の状況（平成２９年４月１日現在）

区　分	職員数		
	平成２９年	平成２８年	対前年比
議会	2	2	0
総務・企画	２２	２１	1
税務	3	3	0
民生	２０	２１	△１
衛生	6	7	△１
農林水産	１０	１０	0
商工	5	4	1
土木	3	5	△２
教育	１０	１１	△１
水道	1	1	0
下水道	1	1	0
その他	３１	３１	0
合計	１１４	１１７	△３
	（１３８）	（１３８）	－

※（　）は、条例で定めている職員の数です。その他は特別養護老人ホーム、介護保険事業、国保関係の人数です。

職員の平均給与月額・初任給等の状況

●職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成２９年４月１日現在）

平均年齢	平均給料月額	平均給与額
４０．６歳	３０万5,000円	３５万８，８３３円

●職員の初任給の状況（平成２９年４月１日現在）

区　分		初任給
一般行政職	大学卒	１７万９，２００円
	高校卒	１４万７，１００円

●職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（平成２９年４月１日現在）

区　分		10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満
一般行政職	大学卒	２２万６，０００円	３１万５，５００円	３６万　５００円
	高校卒	－円	２７万２，２００円	３１万９，４００円

職員手当の状況

●期末手当・勤勉手当（平成２８年度）

平均支給額	２８年度支給割合		加算措置の状況
１２６万円	期末手当	勤勉手当	役職加算５％～１５％
	２．６月分	１．７月分	

●退職手当（平成２９年４月１日現在）

勤続２０年		勤続２５年		勤続３５年		最高限度額
自己都合	勧奨・定年	自己都合	勧奨・定年	自己都合	勧奨・定年	49.59月分
20.45月分	25.56月分	29.15月分	34.58月分	41.33月分	49.59月分	

●特殊勤務手当（平成２８年度）

支給実績	平均支給額	手当支給職員の割合	手当の種類
９９万円	3万９，４００円	２１．４％	１種類

●時間外手当

区　分	支給実績	平均支給額
２７年度決算	２，４８５万円	２１万２，０００円
２８年度決算	２，８３８万円	２４万３，０００円

特別職の報酬等の状況

（平成２９年４月１日現在）

区　分		給料月額・月額報酬	期末手当
給　料	町　長	７８万９，０００円（８３万円）	４．３０月分
	副町長	６４万２，０００円（６６万９，０００円）	
	教育長	５７万６，０００円（５９万４，０００円）	
報　酬	議　長	２６万８，０００円	４．３０月分
	副議長	２１万２，０００円	
	常任委員長	１９万４，０００円	
	議会運営委員長	１９万４，０００円	
	議　員	１７万７，０００円	

※給料の（　）は減額措置を行う前の金額です。

高額介護合算療養費及び医療費通知について

1 高額介護合算療養費について

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。

同じ世帯の被保険者が、１年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度及び介護保険から支給されます。なお、手続きには市区町村窓口への申請が必要となります。

○後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが「０円」の場合は対象となりません。
○支給額が５００円以下の場合は支給されません。

◆自己負担限度額表

負担割合	区　分		自己負担額の合計の基準額
３割	現役並み所得者		67万円
１割	一　般		56万円
	住民税非課税世帯	区分Ⅱ※１	31万円
		区分Ⅰ※２	19万円

【１年分の自己負担額の計算期間：８月１日～翌年７月３１日】

※１：世帯全員が住民税非課税である方
※２：世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が０円（公的年金収入のみの場合、その受給額が８０万円以下）、または老齢福祉年金を受給している方

○申請される方は、保健福祉課保険グループまでお申し出ください。
【申請に必要な物】①広域連合から送付される申請書　②印鑑（シャチハタ等以外）③通帳

2 医療費通知を全受診者へ送付します

広域連合では被保険者の皆様の医療費総額などについてお知らせする「医療費通知」を、対象期間に医療機関等を受診した全ての被保険者の皆様へお送りします。
発送月は、９月と３月の年２回です。

【イメージ図】

受診年月	診療を受けた医療機関等	診療区分	日数	医療費総額	自己負担額
H 29 年 1 月	○○病院	医療外来	1	18,000	1,800
H 29 年 2 月	××薬局	調剤	1	10,000	1,000
合　計				28,000	2,800

※この通知は皆様の受診状況についてお知らせするもので、請求書ではありません。

◆ 医療費通知の活用について

○ 医療費の推移が一目でわかるため、ご自身の健康状態の把握や健康管理に活用できます。
○ 健康診査など、皆様の健康保持・増進に役立つ情報をお知らせします。
○ 診療日数等に間違いがないか確認しましょう。

◆後期高齢者医療制度に関するお問い合わせ先◆

◆北海道後期高齢者医療広域連合
住所　〒０６０－００６２
札幌市中央区南２条西１４丁目
国保会館６階
電話　０１１－２９０－５６０１

◆保健福祉課保険グループ
電話３５－２１２０

これって個性？ 発達障がい？

どんな人にも得意なこと・不得意なことはあります。例えば、片付けは得意だけど料理は苦手、見て覚えるのは得意だけど聞いて覚えるのは苦手、アイディアはたくさん出せるけど計画するのは苦手など、人によって様々な個性を持っています。

個性と発達障がいはグラデーションの様で、明確に区別するラインはありませんが、次のような特性があります。

発達障がいの方は「得意・不得意の幅」が極端に大きく、そのために日常生活で困ったり、生きにくさを感じることにつながりやすいと言われています。

例えば、「ある特定の分野だけ極端に苦手」で 「そのことで本人も周りの人も日常生活で困っている」場合は「得意なこと・不得意なことを知ること」「得意なことを褒め（褒められ）て自信をもつこと」「不得意なことは専門家の力を借りて、直すのではなく生きやすくすること」が大切です。

具体的には次のようなことです。

・診断名にこだわりすぎるのではなく、相手の特徴を理解し、触れ合い、一緒に楽しむことが大切です
・一生懸命な親ほど、苦手なところやできないところは目につきやすく、叱ったり注意することが多くなります。
　苦手なことを強いるのではなく、できるようになったことを褒める方が子どもは伸びます

「乳幼児・学校保健講演会（深川市）」
旭川厚生病院小児科　沖　潤一先生資料より抜粋

ご自身のこと、お子さんのこと、ご家族のことで気がかりなことがある時は保健師までご相談ください。

インターネットで情報を検索される時は不確かな情報や誤った情報が掲載されている場合もありますので、情報源をよく確認するようにしましょう。

発達障がいについてはこちらをご覧ください

【発達障害情報・支援センターホームページ】

http://www.rehab.go.jp/ddis/

※発達障害情報・支援センターのホームページは、収集・分析した正確かつ信頼ある情報を各ライフステージにおいて、いろいろな立場の方に利用しやすい形で提供しています。

※この記事に関するお問合せ先　保健福祉課（健康グループ）　電話３５－２１２０

深川警察署
沼田警察庁舎あんぜん広場 ☎35-3110

冬道での交通事故防止

ストップ・ザ・交通事故　～めざせ　安全で安心な北海道～

◎余裕を持った運転を

目的地までの天気や道路状況を事前に把握して、時間に余裕を持って出発しましょう。

◎スピードダウンと慎重な運転を

冬道では、スリップによる正面衝突の死亡事故が多発しています。
スピードダウンと路面状況にあわせた慎重な運転を心がけましょう。

◎「急」のつく運転操作は危険

急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキといった「急」のつく運転操作はスリップにつながり大変危険です。

◎交差点に注意

雪山で見通しが悪い交差点などでは、「車が来ているかもしれない」、「歩行者が横断しているかもしれない」と危険を予測して、徐行と安全確認を徹底しましょう。

◎悪天候に注意

吹雪や大雪など悪天候時の運転は、吹きだまりや視界不良による立ち往生等の危険が伴いますので、不要な外出は控えましょう。

警察通報は 110 番、相談電話は「＃ 9110」に！

110 番は、緊急の事件・事故などを、いち早く警察へ通報するための緊急電話です。
110 番に出た警察官が、事件・事故の内容に基づいて必要な事項を質問しますので、慌てず落ち着いて正しく答えてください。
携帯電話で 110 番する場合、車で移動しながらの通報や歩きながらの通報は通話が途切れることがありますので控えてください。
また、車を運転しながらの通報は法令違反となる場合がありますので、車を安全な場所に停止して通報をしてください。
緊急の対応を必要としない遺失物・拾得物の届出、諸手続に関する照会等は、最寄りの警察署、交番・駐在所の電話を、相談や警察業務に関する意見・要望は、短縮ダイヤル「＃ 9110」の警察相談専用電話をご利用ください。
ダイヤル回線電話、ＩＰ電話等で短縮ダイヤルが利用できない場合は、下記の番号におかけください。

【沼田警察庁舎・・・・・0164-35-3110】　【深川警察署　・・・・・0164-23-0110】
【旭川方面本部・・・・・0166-34-9110】

犯罪の発生状況（平成 29 年 10 月末現在）

	空き巣	事務所荒し	出店荒し	万引き	鉄板盗	自動車・オートバイ盗	自転車盗	車上狙い	部品ねらい	詐欺	軽油灯油盗	その他	合計
平成 29 年			1									3	4
平成 28 年				1			1	1	1			6	１０

交通事故の発生状況（平成 29 年 10 月末現在）

町内における交通事故件数

人身事故		物損事故	
平成 29 年	2	平成 29 年	４４
平成 28 年	1	平成 28 年	４８

町民が町外で第１当事者となった人身事故件数

平成 29 年	1
平成 28 年	1

消　報

深川地区消防組合深川消防署
沼田支署予防担当☎ 35-2050

平成３０年　沼田消防出初式の挙行について

平成３０年１月１０日（水）の１３時３０分から、役場庁舎前において消防職団員約１００名が集まり開催されます。号令によって職団員がきびきびと動く様子や、沼田消防団ラッパ隊の吹奏、分列行進が見所です。町民の皆様も是非ご観覧ください。

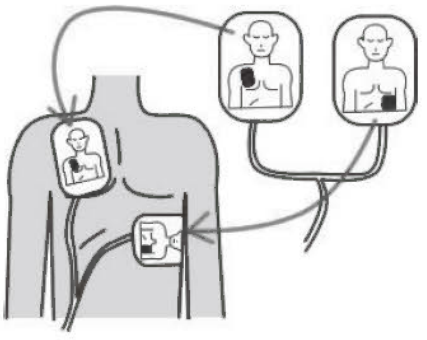
※この写真は、平成２９年の出初式の様子です！

大切な命を救えるのはあなたかもしれません！
～救命講習会を受講しましょう～

目の前で家族や大切な人が倒れた時、あなたはその人の命を助けることができますか？沼田町では１１９番通報をしてから救急車が到着するまで、平均で約７分かかります。その間、目の前にいる皆さんが応急手当を行うことで、命を救える可能性が高くなります。心臓が止まって何もしないでいるとわずか３分で死亡率が約５０％になってしまいます。

友人や隣人、同僚そして大切な家族の命を守り、救うために救命講習会を受講しましょう！

ＡＥＤパッドの貼り方



問い合わせ先：深川地区消防組合沼田支署　救急救助係　℡ 35-2050
受講料：無料
※日時については、受講者のご希望に合わせます。お気軽にお問い合わせください！

※沼田町に設置されているＡＥＤ！ご存じですか？？

①ほろしん温泉ほたる館　②沼田小学校　③沼田中学校　④特別養護老人ホーム旭寿園
⑤養護老人ホーム和風園　⑥沼田町民体育館　⑦生涯学習センター ゆめっくる　⑧沼田認定こども園
⑨深川警察署沼田警察庁舎　⑩沼田町就業支援センター　⑪ B&G プール（夏季のみ）
⑪高穂スキー場（冬季のみ）　⑫近藤歯科医院　⑬ダ・マルシェ　⑭まちなかほっとタウン

大切な家族や財産を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

沼田町
防火標語『後にしよう　その油断が　火事になる』

「なんで」と「どのように」

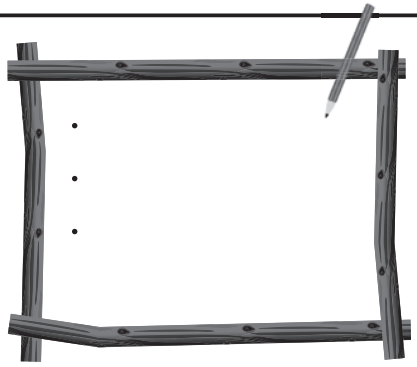
平成２９年１１月２５日（土） 保護者や教員、一般町民を対象に、家庭教育講座を開催し、約５０名が参加しました。

講師の石谷二美枝氏（株式会社コーチングプラス代表取締役）から「子どものやる気を引きだす魔法の質問」と題してご講演をいただき、「子どもの話の上手な聴き方」や「子どものやる気を引きだす質問の仕方」についてお話をいただきました。

石谷氏のお話の中から一部をご紹介しますので、ご家庭でお子さんとの接し方等の参考としてください。

<子どもの話の上手な聴き方>

○あなたは相手がどんな態度だと話したくなりますか？
（右に記入してみてください。）
→・笑顔　・優しそう　・頷く　・興味を持っている
と答える方が多くいました。



○最近、片手にスマホを持っている親と子の会話をよく目にします。
→耳では話を聞いているが、子どもは「話を聴いてくれている」と感じるでしょうか。

⇒　大人がされて嬉しいこと・嫌なことは、子どもにとっても嬉しいこと・嫌なことです。

<子どものやる気を引きだす質問の仕方>

○あなたが「やろうやろうと思っていて」していないことは何ですか？
（下に記入してみてください。）

→　・ダイエット　・部屋の片付け　・筋トレと答える方が多くいました。
※「やろうやろうと思っていて」していない（できていない）理由を尋ねるときには

	「なんでしていないの？」	「どのようにしたらできる？」
×	→「だって～」という言い訳や理由を述べさせる尋問となる。	→「今度から～」という解決策を自ら考えさせる効果的な質問となる。
	（例）なんで勉強しないの？ →　だって、ゲームしたいもん…。 →　めんどくさいから…。	（例）どうしたら勉強できる？ →　まずは整理整頓してみようかな…。 →　宿題やろうかな…。
○		

⇒　質問の仕方ひとつで、前向きに、一歩を踏み出すきっかけとなります。

○教育委員会「ブログ」随時更新中○
URL: http://blog.canpan.info/numakyoui/
教育委員会事業を掲載しております。こちらもご覧下さい。

このページに関するお問い合わせ・・・沼田町教育委員会（℡３５－２１３２）

司書のイチオシ!

『怖い絵』

『怖い絵』という本を知っていますか？ 『怖い絵』に登場する絵画自体は、特別怖いものではありません。しかし、この本を読むと、絵画のできた当時の様子や画家について知ることで、絵画の見方がガラッと変わります。

この『怖い絵』は、本に登場した絵画の展示が兵庫や東京の美術館で行われ、連日たくさんの人で賑わいました。その人気の『怖い絵』の本が図書館にシリーズで３冊あります。これからくる正月休みに、ぜひ美術の本に触れてみませんか。美術好きでもそうでなくても楽しめる内容の本ですので、ぜひ手に取って見てみてほしいと思います。

紹介した『怖い絵』以外にも、『もっと知りたいシリーズ』や『アートライブラリーシリーズ』など美術に関連した本がたくさんあります。中でも今回紹介した『怖い絵シリーズ』と『もっと知りたいシリーズ』は、美術の本に触れたことがあまりない人でもわかりやすい内容となっています。

今回紹介した本以外にも図書館にはたくさんの美術の本がありますので、図書館に来館した際には、ぜひ本を手に取って見てみてください。

新刊図書

«一般書»	
末ながく、お幸せに	あさのあつこ
偶然の祝福（大活字）	小川　洋子
沈黙法廷	佐々木　譲
和菓子のアン（大活字）	坂木　司
螢草（大活字）	葉室　麟
菊日和（大活字）	津村　節子
この世の春　上・下	宮部　みゆき
絵本むかし話ですよ	五味　太郎
メ切本　2	左右社編集部
勝手にしゃべる女	赤川　次郎
ミステリ博物館	赤川　次郎
ホワイトラビット	伊坂　幸太郎
«児童書»	
ゆめねこ	真珠　まりこ
うみキリン	あきやま　ただし
ピノキオ	いもと　ようこ
賢者のおくりもの	いもと　ようこ
かさちゃんです	とよた　かずひこ
ゆびさしな～に？	とよた　かずひこ
憲法くん	松元　ヒロ
でんでんでんしゃ	スズキ　コージ

新刊図書これがおすすめ!!

『わたしを離さないで』カズオ・イシグロ

優秀な介護人キャシー・Hは「提供者」と呼ばれる人々の世話をしている。生まれ育った施設の親友トミーやルースも提供者だった。キャシーは施設での奇妙な日々に思いをめぐらす。彼女の回想は施設の残酷な真実を明かしていく…。

『あのときのカレーライス』　伊藤　秀男

以前は貧乏だったが、働いて働いて大金持ちになった男。あるとき「ああ、あのときのカレーライスが食べたい」とつぶやきました。
男の頭は貧しいときに食べたカレーのことでいっぱいになり…。

家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できるようになっています。検索は、沼田町教育委員会のブログのリンク集からどうぞ。
http://blog.canpan.info/numakyoui/

NUMATA 広報ぬまた１月号
第615号（平成29年12月26日発行）

ご寄付 社会福祉基金へのご寄付ありがとうございました。

１２月１５日（金） 土肥芳子氏（市内５）から３０万円のご寄付をいただきました。
土肥氏のご意向により社会福祉の向上の為、有効かつ適切にご活用させていただきます。
ありがとうございました。

人の動き
（平成29年11月30日現在）

人　口	3,150人	（前月比　△7人）
男　性	1,495人	（前月比　△2人）
女　性	1,655人	（前月比　△5人）
世帯数	1,524世帯	（前月比　2世帯）

■総人口増減内訳
増加）転　入：　8人　　出　生：　0人
減少）転　出：　5人　　死　亡：10人

交通事故死ゼロ
（平成29年12月26日現在）

1,997日継続中!!

おくやみ

氏名	死亡月日	年齢	住所
江川サヨ子　さん	11月14日	89歳	沼田4
関野セツ子　さん	11月21日	86歳	旭町東
橋爪　秀子　さん	11月23日	87歳	旭町東
吉田　信之　さん	11月25日	81歳	旭町東
塩崎ユリ子　さん	11月28日	94歳	旭町東
太田　勝三　さん	12月11日	86歳	旭町東

Cover
―表紙の写真―

来年の干支「戌年」の小学生に集まってもらい撮影しました。
【１２月１４日撮影】

～広報担当のつぶやき～

新年あけましておめでとうございます。
昨年のこの号のつぶやきで「見やすくわかりやすい紙面づくりを心がけます」と宣言してしまいましたが、いかがでしたでしょうか？わかりづらい、見づらい、全くダメ！とのご意見等がございましたら、こっそりと伝え下さい。
昨年の酉年は「商売繁盛・収穫」と言われていましたが、戌は「守りの年」と言われているそうですが、守ってばかりでは、得点には結びつかないので、ちょっと攻めてもいいのかなと思います。とは言ったものの広報の紙面を冒険するには、勇気がいります。
遅くなりましたが、今年もよろしくお願いします。

広報情報グループ（森田）

■発行者　北海道雨竜郡沼田町長　金平嘉則　■編集　総務財政課広報情報グループ
〒078-2202　北海道雨竜郡沼田町南1条3丁目6番53号
■TEL：0164-35-2111　■ホームページ：http://www.town.numata.hokkaido.jp/

この広報誌は再生紙と大豆インクを利用しています。